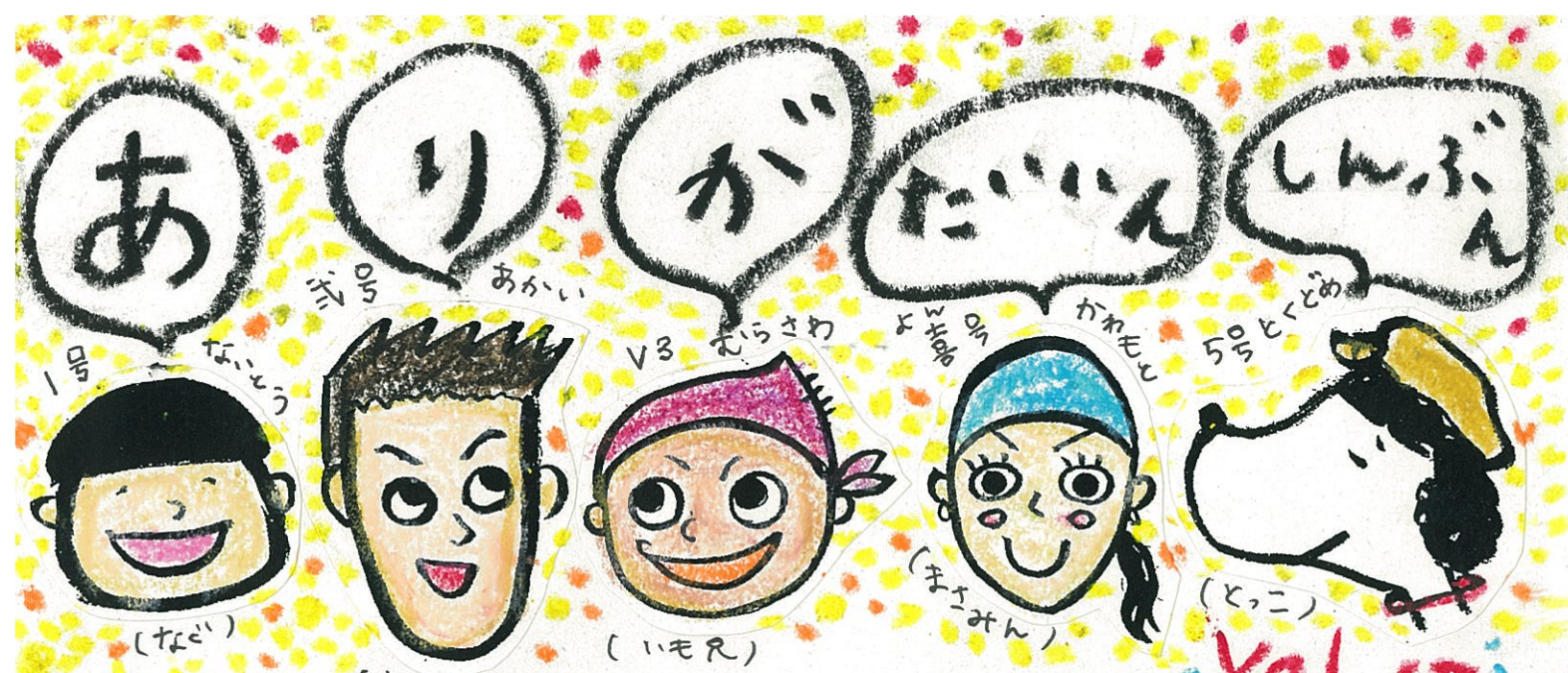




8/9~17 ななめに暮らす夏休み。 9名の若者がやって来ました。



8/12 関東・名古屋・滋賀の都市から来てくれた
 さんのおトマトハウス
 と4校1本馬談♪



8/13 採れたトマトを宮澤ゆき子さんとトマトソースに！



8/15 夏祭りにて、東栄町の協カ隊とコラボしたスペシャル石窯ピザの宴になりました。



8/10 村松美里さん宅にホームステイ 8/16にも再訪

Vol.17
 2019
 8/28 発行



8/4 素晴らしい雲海(大田) おいしい食事を食べてくれた今村マサト



8/12 和知里予ッキャンプ場の売店のお仕事をしながら空いた時間で村のあちこちを巡りいろんな本馬談をしました。



8/16 伊藤麻屋さんに着付けをしてもらい、老人ホームの盆踊りに参加



8/11 福島小で水かけ祭りPP 村の5人の連人が竹水鉄砲の作り方を教えてくれました。

ななめに暮らす数日。
 [ホストファミリー(本馬談談)]
 中学生の(本馬談)学習も村で受け入れを始めて以来、可能な限り受け入れていきます。
 根底にあるのは、この村を少しでも全国の若い方々に知っていただき、自然の良さや高齢化に過疎の村での実態を感じていただければと継続しています。都会の若い諸君との触れ合いのなかでは、見る物・聞く物全てが新鮮に映るようです。受け入れる前は、食事やら家の中の片付けなど気がつかいましたが、回を重ねるごとに慣れました。
 一番最初に受け入れをいたした中学生の母親から頂いた手紙の一部を紹介します。「...この度はOO(子どもの名前)が大阪お世話になりました誠に有難うございます。中学2年になってからは、無口にはなりましたが、帰宅した時は野村様ご夫婦に本馬談をさせて頂いたことを興奮しながら次から次へ話し始めました。和気もたつ田舎の風景を空想しながら楽しく聞くことが出来ました。」この手紙は、今でも大切にしまっています。
 「ななめに暮らす数日」と称して、3月に大学生と、社会人2名の男性を受け入れさせていたいただき。2人ともリポーターとして来村に会うことが出来ました。6月には女子中学生4名の受け入れをさせてもらいました。女性は初めてで心配しましたが、また機会があれば女性がいいかな？ しかしながら、8年前から村で受け入れが始まって以来、年々受け入れ家庭が少なくなっているのが残念です。皆さん、心配しないで受け入れてみませんか、楽しいですよ。

お休みの前のおきよめの湯にて高校生バンドミュージックス開催

8/24

毎月21日はハマルシェの日

5月から毎月、村の特産品を持って名古屋八事山崎寺の境内でやるマルシェ(市場)に参加しています。中京圏から近くて素敵な天龍村をPRしています。今月はていどなすなどを持っていきます。いっしょにPRしたいという生産者の方がいまだにぜひご連絡下さい。32-1160 農林業公社(河本)

地域の大人と語り合いという高校生の集まりに呼ばれ、この企画が誕生しました！9つの高校生バンドが天龍村に集まりました！！しかし、スタートと同時に大雨！！大雨の中、大自然の中での演奏なんてききと一生たれられないものになったと思います。お客さんでも子どもからお年寄りまでみんなでワイワイ楽しんで良かったです。これをロケにとどんどん地元若者との交流が広がっていくと思います。(村澤)

※今日のベストオブいいねは都合によりお休みします

伊藤床屋さんでお借りしました

食護血粥

A photograph of four women standing side-by-side, wearing traditional Japanese kimonos. From left to right: the first woman wears a dark blue kimono with a white floral pattern and a large orange obi; the second wears a white kimono with a blue floral pattern and a blue obi; the third wears a white kimono with a blue floral pattern and a blue obi; the fourth wears a light purple kimono with a dark purple floral pattern and a dark purple obi. They are all smiling. The photo is framed by a hand-drawn border of red and blue wavy lines. Above the photo, there is a handwritten note in Japanese. To the left of the photo, there is a vertical handwritten note.